

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【公開番号】特開 2018-175975 (P2018-175975A)
 【公開日】平成 30 年 11 月 15 日 (2018.11.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-044
 【出願番号】特願 2018-158552 (P2018-158552)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面側を遊技球が流下可能な遊技盤と、前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球可能な入賞口を有する入球ユニットとを備えた遊技機において、

前記入賞口は、開放状態と閉鎖状態とに切り替わる開閉部材によって開閉され、

前記入球ユニットの前側には遊技領域を背部領域として形成するカバー部が設けられ、

前記カバー部の盤面側には前記遊技球の流通を案内する流通案内手段が設けられ、

前記流通案内手段として、遊技球の流路を分岐させる非可動の固定部材として設けられ前記入賞口へと向かうように遊技球を転動させる傾斜面を有する分岐部を備え、該分岐部によって、前記入賞口に流通可能な第 1 流路と前記入賞口に流通しない第 2 流路とに遊技球が分岐されるようになっており、

前記カバー部の盤面側の遊技領域を流通する遊技球を該カバー部の透明領域を介して視認可能とされており、

前記カバー部の盤面側には遊技釘が設けられておらず、前記流通案内手段によってのみ遊技球の流通が案内されるようになっており、

前記分岐部の前記傾斜面に到達した遊技球が該傾斜面を前記入賞口へと向かうように転動したとき、前記開閉部材が閉鎖状態にある場合には必ず該開閉部材によって前記入賞口へ受け入れられず、前記開閉部材が開放状態にある場合には必ず前記入賞口へと案内される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

遊技機として、遊技盤の前面に形成された遊技領域に遊技媒体としての遊技球を打ち込み、この打ち込まれた遊技球が遊技領域に設けられた始動口に入賞したことにもとづいて表示装置（例えば、液晶表示装置）で図柄等の変動表示を実行し、大当り図柄が導出表示され場合に遊技者に所定の利益を付与する大当り遊技状態に制御するものがある（例えば

特許文献 1)。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ところで、上述した従来の遊技機では、遊技領域に設けられる入賞口ユニットとして遊技興趣の低下を抑制する新たなものが望まれている実情にある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は上記の実情に鑑み、遊技興趣の低下を抑制することが可能な遊技機の提供を目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、請求項 1 の発明においては、前面側を遊技球が流下可能な遊技盤と、前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球可能な入賞口を有する入球ユニットとを備えた遊技機において、

前記入賞口は、開放状態と閉鎖状態とに切り替わる開閉部材によって開閉され、

前記入球ユニットの前側には遊技領域を背部領域として形成するカバー部が設けられ、

前記カバー部の盤面側には前記遊技球の流通を案内する流通案内手段が設けられ、

前記流通案内手段として、遊技球の流路を分岐させる非可動の固定部材として設けられ前記入賞口へと向かうように遊技球を転動させる傾斜面を有する分岐部を備え、該分岐部によって、前記入賞口に流通可能な第 1 流路と前記入賞口に流通しない第 2 流路とに遊技球が分岐されるようになっており、

前記カバー部の盤面側の遊技領域を流通する遊技球を該カバー部の透明領域を介して視認可能とされており、

前記カバー部の盤面側には遊技釘が設けられておらず、前記流通案内手段によってのみ遊技球の流通が案内されるようになっており、

前記分岐部の前記傾斜面に到達した遊技球が該傾斜面を前記入賞口へと向かうように転動したとき、前記開閉部材が閉鎖状態にある場合には必ず該開閉部材によって前記入賞口へ受け入れられず、前記開閉部材が開放状態にある場合には必ず前記入賞口へと案内される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、遊技興趣の低下を抑制することが可能となる。